

1. 建学の理念

私たちの建学の理念は「言葉は世界をつなぐ平和の礎（いしずえ）」。世界中の人々と、言葉を通じたコミュニケーションによって理解を深め、世界の架け橋となる人材を育てたいという思いが込められています。

2. 教育の理念

建学の理念の実現に向けて、神田外語学院の教育の理念は次のように設定されています。

■ コミュニケーション

- (1) 効果的な対人コミュニケーションができる人材を育てます。
- (2) グローバル社会の進展に対応できる能力を養成します。

■ 自律

- (1) 自らの特性を理解し、目標を立て、行動する能力を養成します。
- (2) 分析力、判断力を育成し、効果的な問題解決の実践を可能にします。

■ 社会貢献

- (1) 自己研鑽及び社会活動への参画を促し、社会を先導できる人材を育成します。
- (2) 寛容・忍耐・利他主義の精神を養い、自らの人道的価値を高めます。

■ 先進

- (1) 新しい考えの中から価値ある物を見極め、自ら創造する能力を育てます。
- (2) 最先端技術を活用した学習環境を提供し、高度情報化社会に適応できる能力を育てます。

3. 学院のあゆみ（抜粋）

語学系の専門学校として長い歴史を持つ神田外語学院。皆さんも神田外語学院の歴史を刻む大切な一人です。目標に向かってがんばりましょう。

1963	神田外語学院創立
1969	学校法人佐野学園設立
1976	専門学校法施行により、外国語専門課程の専門学校として認可を受ける
1987	カリキュラム大改訂 姉妹校「神田外語大学」が開学
1992	神田外語大学英米語学科への1年次推薦入学制度導入
1994	KIFL タスクベース学習法を導入 マルチメディア教育開始国際研修センター「ブリティッシュ・ヒルズ」オープン
1995	1994年度卒業生（1995年3月卒業生）より「専門士」の称号授与 カリキュラム大改訂全コースにKIFL タスクベース学習法を導入
2001	神田外語大学英米語学科への3年次編入学制度導入
2009	VISTA (Village of Innovative Study and Training Access) の設立
2010	Hybrid English Learning Program(HELP)導入/The Culture & Food Kitchen 設立
2012	6号館リニューアルオープン 国際ビジネスキャリア科、英語コミュニケーション専科開始
2014	アジア/ヨーロッパ言語科にインドネシア語、ベトナム語、タイ語各言語コーススタート
2015	8号館に京急観光神田外語学院旅行センターをオープン
2015	Multilingual Opportunities and Valuable Experiences (MOVE)の設立

4. 設置課程及び学科

2018年度現在、当学院には2年制専門課程と1年制専門課程が設置されています。

2年制専門課程で学ぶためには、高等学校卒業又はそれと同等以上の資格が必要で卒業までの総授業時数は2080時間です。1年制専門課程英語コミュニケーション専科は大学・短大・専門学校卒業、又は高卒の社会人を入学対象としています。

各専門課程に設置されている学科は以下の通りです。

〔1〕2年制専門課程・学科

◆ 英語専攻科

・通訳・翻訳専攻 ・医療通訳専攻 ・英語キャリア専攻 ・大学編入専攻

◆ アジア／ヨーロッパ言語科

・フランス語コース ・スペイン語コース ・中国語コース ・韓国語コース

・インドネシア語コース ・ベトナム語コース ・タイ語コース

◆ 児童英語教育科

◆ 国際ビジネスキャリア科

◆ 国際観光科

◆ 国際ホテル科

◆ 国際エアライン科

・キャビンアテンダントコース ・グランドスタッフコース

◆ グローバルコミュニケーション科

◆ 留学科

・海外大学3年次編入コース ・コミュニティカレッジコース

〔2〕1年制専門課程・学科

◆ 英語基礎養成科

◆ 英語コミュニケーション専科

・9ヶ月コース ・1年コース

■□■□ 専門士 ■□■□

神田外語学院は専門学校の専修課程であることを文部科学省より認可されており、2年制専門課程では、規定の単位を修得した場合、卒業時に「専門士」の称号が授与されます。

専門学校の教育は大きく分けて8分野に区分され、それぞれに関連の学科が設置されており、全ての分野で一定の条件を満たしている専門学校の場合は、「専門士」の称号を取得することができます。

「専門士」の称号授与には、修了した課程・学科名が記載されています。そのため、学習した技術、技能、教養の内容を第三者に提示することができます。また、「専門士」の称号は、共通した基準に基づいて文部科学大臣が認定する学科に付与されますので、その社会的評価と信頼は安定且つ恒久的なものです。

専門学校の専修課程を修了していることで、それを編入学の出願資格としている多くの大学への編入学が可能となっています。

5. 教務に関して

〔1〕授業について

授業は所定の教室において、月曜日から金曜日までの、9時20分から17時00分の間に行います。1授業時間の単位は45分間です。

授業は講義形式ではなく、トレーニングを中心とした実践力を養うための実習や演習形式で行われます。一部講義科目の扱いを受けるものもあります。

午 前	1 限 目		2 限 目	
	9:20~10:05	10:10~10:55	11:05~11:50	11:55~12:40

午 後	3 限 目		4 限 目	
	13:40~14:25	14:30~15:15	15:25~16:10	16:15~17:00

〔2〕成績について

出席時間数・授業態度・テスト・レポート等で判断されます。それぞれの科目が合格になるためには、各教科の成績で合格し、さらに出席時間数でも基準を満たしていなければなりません。

評 価	点 数	成績証明書
合格—A	90~100点	「秀」と表示
合格—B	80~89点	「優」と表示
合格—C	70~79点	「良」と表示
合格—D	60~69点	「可」と表示
合格—P	—	「合」と表示
不合格—F	59点以下	不合格科目名は表示しない

〔3〕出欠席及び遅刻について

1. 全ての授業に出席することが、授業効果のうえで最も重要です。やむを得ぬ場合を除き、全ての授業に出席して下さい。出席率は成績評価のうえでも重要な部分を占めています。授業への出席率が75%に充たない履修科目がある場合、担当講師による成績評価にかかわらず、その科目の単位修得資格を失いますので、自分の遅刻・欠席回数をしっかりと把握しておいて下さい。

注意：再履修科目の単位修得にかかわる出欠要件については、通常学期とは異なりますので注意して下さい。

2. 出席は、授業ごとにその授業の担当講師が点呼をとります。名前を呼ばれたら大きな声ではっきりと返事をして下さい。声が小さいと出席を確認できず、欠席扱いとなることがあります。又、点呼を取った時に教室内にいなかった場合には欠席扱いとなります。

3. 授業開始後 15 分未満は遅刻、15 分以降は欠席となります。学期中 3 回の遅刻があると 1 回の欠席となります。又、授業間の休憩時間終了後も教室内にいない場合には、「遅刻」又は「欠席」になります。

但し、遅刻入室は授業進行に重大な支障をもたらすので、15 分未満であっても担当教員が入室を拒否し、欠席とすることがあります。早退についても、各授業の終了時間の 15 分前より早く退室した場合には、欠席扱いとなります。

教務関係諸制度

留学科、英語基礎養成科、英語コミュニケーション専科以外の学科

〔4〕学 科 目

1. 学科目は、以下のように構成されます。

A. 共通科目 B. 専門科目・専攻科目 C. 選択科目

2. 学科科目

A. 共通科目

下記の各分野の科目が設定されています。但し、入学年度、学科によって設定科目が異なりますので、詳細については P29～P44 の学科別単位修得区分で確認して下さい。

- (1) Modular Learning System (MLS)
- (2) English for International Communication (EIC)
- (3) Hybrid English Learning Program (HELP)
- (4) TOEIC 講座
- (5) キャリア開発
- (6) Business Software Training (BST)

B. 専門科目・専攻科目

各学科の専門科目・専攻科目に関しては、単位修得区分 (P29～P44) を参照して下さい。

C. 選択科目

選択科目は原則として 3 学期に履修します。

選択科目の卒業要件単位は 0 単位～13 単位で、学科により異なります。(選択科目がない学科もある)

詳しい科目内容は、選択科目登録時 Infoweb 上にされる 3 学期履修登録ガイドブックを参照して下さい。

〔5〕時間割の構成

1. 総 説

各人の時間割の構成は、共通科目と学科別指定専門科目、さらに選択科目を含んだ 3 分野から構成されています。

2. 学期、単位、授業時間

1年間で学期は、1学期・2学期・3学期に分かれます。

1・2学期は原則として各16週で1学期、3学期は8週で1学期、合計40週で1学年としています。

1単位は、45分の授業を週1回、1学期間受講し、合格した場合に修得できる単位数です。週に1回の科目では学期毎に2単位の設定となっています。この場合、2授業時間〔90分=45分×2、途中5分間の休憩〕の授業を週1回、1学期間受講することになります。〔学科別単位修得区分で、(2)と記載〕

但し、3学期は、1・2学期より授業回数が少ない為、週に1回の科目は1単位になります。

また、2授業時間（途中5分間の休憩）を1コマと呼びます。

3. 学期授業日、及び単位修得区分

A. 学期授業日

1学期 4月16日～ 7月30日

2学期 8月31日～ 12月17日

3学期 1月 7日～ 3月4日

B. 単位修得区分

2年制専門課程を卒業するためには、単位修得区分に従い、各学科で定められた授業科目および所定の単位を修得しなければなりません。（※この単位修得区分は、2年間に於ける各学期末・3学期での標準修得単位数を示し、「卒業見込証明書」発行の際の基準となります。）

〔6〕履修科目、単位について

A. 共通科目

1. 共通科目は、学年で「1」と「2」に分れています。

（例：1年生—EIC1、2年生—EIC2）。

但し、単位は学年毎に独立していますので、成績表上、各科目は学期毎にⅠ、Ⅱ、

Ⅲ、Ⅳというように分かれています。単位の配分は科目によって異なりますので学科別の単位修得区分（P29～P44）を参照して下さい。

2. 共通科目は、卒業までに必要単位をすべて修得しなければなりません。

各学期で単位が認定されますが、不合格となり単位が修得できなかった科目については、指定される再履修講座又は再履修課題（受講登録料別途必要）を受講・合格し、不足単位を補うことになります。

再履修の履修可能単位には制限があり、不合格科目が多数あると進級や卒業に支障をきたしますので十分に注意して下さい。

再履修講座の詳細に関しては、別途発表します。

B. 専門科目・専攻科目

英語専攻、アジア／ヨーロッパ言語、児童英語教育、国際ビジネスキャリア、国際観光、国際ホテル、国際エアラインの各学科

学科別の専門科目・専攻科目は、学期毎に単位が認定されます（2学期以上をまたぐ科目もある）。不合格となり単位が修得できなかった科目については、再履修講座、又は再履修課題（再履修登録料別途必要）が設定され、それを受講・合格することによって未修得分の単位を補うことになります。それぞれの科目の再履修がどのような形態で行われるかについては、再履修案内（別途掲示）を参照して下さい。

総修得単位数が卒業要件を充たしていても各学科別の指定専門科目を全て修了していない場合には、卒業が認められません。

C. 選択科目について

選択科目は主に3学期に履修します。卒業に必要な単位数は、各学科で指定されています（各学科別のカリキュラム表を参照）。

1・2学期は、2授業時間（90分＝45分×2、途中5分間の休憩）の科目を週1回受講・合格で2単位の設定となっていますが、3学期に関しては、通常学期より短い期間で行われますので、2授業時間の科目を週2回受講し合格した場合に2単位修得となります。

選択科目は、3学期で履修するほかに各種資格検定試験の合格、海外短期留学その他、キャリアデザイン、編入課程等の講座の修了等でも単位が認定されます。（認定される検定試験及び単位数については、P46～P48参照）

留学科 教務関係諸制度

コース名称と略称

- ① 海外大学3年次編入コース → UTC
- ② コミュニティカレッジコース → CCC

学校名称と略称

- ① 提携4年制大学 → 提携4大
- ② 提携コミュニティカレッジ → 提携CC

1. 学科科目構成区分

- a) 留学準備科目 (Preparatory Subjects)
- b) 大学単位認定科目 (Accredited Subjects)
 - (1) 共通科目 (UTC・CCC 共に履修する科目)
 - (2) UTC 科目 (UTC のみで履修する科目)
 - (3) CCC 科目 (CCC のみで履修する科目)
- c) 夏季特別講座 (Summer Program)
 - UTC は任意受講、CCC は全員受講

2. 学科科目

a) 留学準備科目

省略記号	科目名
NTG	ノートテイキング
RVD	リーディング&ボキャブラリー
TFL	TOEFL 準備講座
ORT	留学オリエンテーション
CG	キャリアガイダンス

b) 大学単位認定科目

(1) 共通科目

UTC	CCC	科目名
ART20	ART124	芸術学 絵画
COMM 3	COMM122	コミュニケーション学 パブリックコミュニケーション基礎
CSCI 5	CSCI110A	情報システム学 コンピュータコンセプト
CSCI30	CSCI110B	情報システム学 インターネット基礎
EES 1	GEOL110/111	地質学 自然災害と地球科学
ENGL10	ENGL120	英語学 カレッジライティング (I)

GEOG 2	GEOG130	地理学 文化地理学基礎
HIST12	HIST109	歴史学 アメリカ史 (1865年以後)
HUM11	HUM120	人文学 西洋文明
MATH45	MATH120	数学 数学基礎 (I)

(2) 夏季特別講座

UTCは任意受講、CCCは必修科目

UTC	CCC	科目名
BIOL10/L	BIOL120/L	生物学 ライフサイエンス
PLSI2	POSC121	政治学 アメリカおよびカリフォルニア政治と政治機構

(3) UTC 科目

省略記号	科目名
ARTH11	芸術史学 現代アート
COMM 7	コミュニケーション学 パースェーション
CFS38	家庭学 生涯設計・人生開発論
ECON40	経済学 ミクロ経済学基礎
ENGL20	英語学 文学基礎
HIST11	歴史学 アメリカ史 (1865年以前)
LING6	言語学 リーディング&ライティング中級
LING10	言語学 リングィスティックス基礎
PHIL25	哲学 論理的推論法
SOC 1	社会学 社会学基礎

(4) CCC 科目

省略記号	科目名
CSCI110	情報システム学 CSCI110A およびB
SPAN120	スペイン語

英語基礎養成科 教務関係諸制度

〔1〕 学科目

1. 英語基礎養成科の学科目は専門科目のみで構成されています。1 学期 32 単位、2 学期 32 単位、3 学期 14 単位を修得します。

2. 授業時間割の構成

a) 総 説

各人の授業時間割は全て専門科目で構成されています。それぞれの科目においては、P43次項の学科目案内を参照して下さい。

b) 学期授業日及び単位修得区分

① 学期授業日

1 学期 4月16日～ 7月30日

2 学期 8月31日～12月17日

3 学期 1月 7日～ 3月 4日

② 単位修得区分

昼間部専門課程の英語基礎養成科を卒業するためには、P43次項の表に従い、最低必要な78単位を履修合格しなければなりません。

〔2〕 単位の見方

1. 学期、単位、授業時間

1年間は1学期・2学期・3学期に分かれます。卒業に必要な単位は78単位です。1単位は、45分の授業を週1回、1学期間受講し合格した場合、修得できます。

多くの科目で、学期毎に2単位となっていますが、この場合2授業時間〔90分=45分×2、途中5分間の休憩〕の授業を週1回、1学期間受講することになります。したがって、4単位の科目では2授業時間の授業を週2回となります。

但し、3学期は、1・2学期より短い期間で行われますので、2単位の科目の場合、2授業時間を週2回受講することになります。

2. 専門科目

専門科目の卒業要件単位はすべて3学期終了時まで修得しなければなりません。上記の通り、各学期で単位が認定されますが、不合格となり単位が修得できない場合は、再履修し、不足単位を補うことになります。

英語コミュニケーション専科 教務関係諸制度

〔1〕 学科目

1. 英語コミュニケーション専科の学科目は専門科目のみで構成されています。
英語コミュニケーション専科の専門科目は「単位修得区分」（後述）及びP44次項の表を参照して下さい。
2. 授業時間割の構成
 - a) 総 説
各人の授業時間割は全て専門科目で構成されています。それぞれの科目については、P44次項の学科目案内を参照して下さい。
 - b) 学期授業日及び単位修得区分
 - ① 学期授業日
1 学期 4月16日～ 7月30日
夏季集中講座
2 学期 8月31日～12月17日
3 学期 1月7日～ 3月 4日
 - ② 単位修得区分
昼間部専門課程の英語コミュニケーション専科を卒業するためには、P44次項の表に従い、最低必要な78単位を修得しなければなりません。
3. 夏季集中講座について
 - a) 希望者は夏季集中講座に参加できます。夏季集中講座は8月中旬に行われる9泊10日のTOEIC合宿、その前後それぞれ4日ずつ、合計8日間の授業で構成されます。
詳細な日程は後日発表します。
 - b) TOEIC合宿単位認定について
午前 9：00-12：00 3時間
午後 13：00-17：00 4時間
夜 19：00-22：00 3時間
合計 10時間/日×9日間=90時間（8単位認定）
 - c) 夏季集中講座構成
TOEIC合宿前4日 3時間/日×4日=12時間
TOEIC合宿後4日 3時間/日×4日=8時間（2単位認定）
合計 3時間/日×8日=24時間（2単位認定）
- b) 及び c) で10単位を認定

〔2〕単位の見方

1. 学期、単位、授業時間

1年間は、1学期・夏季集中講座・2学期・3学期に分かれます。

卒業に必要な単位は78単位です。

1単位は、45分の授業を週1回、1学期間受講し合格した場合に修得できます。

多くの科目で、学期毎に2単位となっていますが、この場合2授業時間〔90分＝45分×2、途中5分間の休憩〕の授業を週1回、1学期間受講することになります。したがって、4単位の科目では2授業時間の授業を週2回、6単位の授業では週3回となります。

但し、3学期は、1・2学期より短い期間で行われますので、2単位の科目の場合、2授業時間を週2回受講することになります。

2. 専門科目

専門科目は、卒業までに卒業要件単位をすべて修得しなければなりません。上記の通り、各学期で単位が認定されますが、不合格となり単位が修得できない場合は、再履修し、不足単位を補うこととなります。

神田外語学院コンピューター使用規程

〔1〕 概要

本学では国際人を目指す学生にとって ICT 教育は必須と考えます。学内にはそれぞれの教育目標に適化されたコンピューター教室があり、学院の語学・専門カリキュラムを支えています。

〔2〕 コンピューター使用規定

コンピューターは多くの学生が利用するものなので、ルールやマナーをお守り下さい。下記の事項に違反した場合には処罰を含む、相応の責任を負っていただきますのでご注意ください。

<禁止事項>

- ① 飲食しながら使用する行為。
- ② 基本設定を変更、削除する行為。
- ③ 無断でソフトウェアをインストールする行為。
- ④ 周辺機器を取り外し、教室から持ち出す行為。
- ⑤ 学習目的以外に使用する行為。

<遵守事項>

- ① 授業時間以外に長時間占有しないこと。
- ② 使用後は必ずログオフをすること。次の利用者を考えて、整理整頓を心がけること。
- ③ 異常や故障を発見した場合は直ちに担当講師、スタッフに届け出ること。
- ④ 保存するデータは割り当てられる個人のネットワークフォルダに保存すること。

〔3〕 インターネット及びメール使用規定

インターネットとメールは、学生であれば、どのコンピューターからでも使用できます。メールアドレスは一人一人に渡され、本人であることの認証となりますので、パスワードは他人に知られないように管理して下さい。尚、以下に示す規定の中には、違反すると犯罪となるものも含まれているので厳守して下さい。

- ① 画像やデータ、文章を引用するときは、必ず著作者名及び引用先を明示すること。
- ② 売買、政治活動、宗教活動をしないこと。
- ③ 公序良俗に反する情報の発信・公開をしないこと。
- ④ 授業では学校規定の Web メール(KIFL mail)を使用すること。
- ⑤ 他人に対する名誉棄損、誹謗中傷等の行為をしないこと。

〔4〕 印刷について

授業や自主学習の際、教室に設置されているプリンタを利用できますが、下記の事項を守って下さい。

- ① 印刷の私的利用は禁止です。
- ② 印刷プレビュー画面で仕上がりを確認し、印刷範囲にミスが無いか確かめること。
- ③ また、必要に応じて両面印刷や集約印刷などを活用し、印刷枚数の軽減を心がけること。
- ④ プリンタの不具合(印刷エラー等)が起きた場合、速やかにスタッフに知らせること。

- ⑤ 他に利用者がいることを考え、プリント物は速やかに回収を心がけること。

〔5〕セキュリティ対策とファイル管理責任について

システムによるセキュリティ対策を実施しておりますが、不審なサイトやメール、添付ファイルは決して開かないように注意して下さい。その他、下記にもご注意下さい。

- ① コンピューターやメール等のパスワードは個人で管理し、他人には知らせない。
- ② パスワードは定期的に変更すること。
- ③ 個人で作成したデータは責任を持って管理して下さい。過失によるデータ消失の場合、学院は責任を負うことができません。
- ④ 持参した PC は、校内ネットワークへ接続できません。

※グローバルコミュニケーション科についてはカリキュラム上、専用教室で接続を許可しています。

6. 学院生活諸注意

[1] 学生への連絡方法

学生への連絡は、基本的に掲示板や Info-Web を通じてお知らせします。登下校の際には、必ず掲示板を見る習慣をつけ、連絡、呼び出しの見落としがないようにしてください。

◆掲示板

掲示板の内容は階によって異なります。どの情報がどの場所に掲示されるのかしっかり把握してください。

本館 2階	学生部・教育部からのお知らせ
	【授業・特別講座関連】 履修・再履修案内／選択科目履修登録／進級・卒業判定案内／教材販売／検定対策特別講座／学内TOEIC 案内／検定試験実施補助等のアルバイト募集など 【イベント・説明会実施関連】 新年度ガイダンス・オリエンテーション案内／卒業式・卒業パーティー案内／海外団体研修説明会案内／神田外語大学1年次推薦、2・3年次編入学制度及び学院選抜試験／卒業アルバム／課外活動など 【検定試験関連】 各種検定試験案内／合否発表など 【奨学金他】 奨学金／外部一般案内／学生相談室からのお知らせなど
	キャリア教育センターからのお知らせ
	【就職活動関連案内】 ガイダンス・会社説明会案内等
本館 3階	大学編入センターからのお知らせ
	【大学編入関連】 大学編入課程案内／大学編入センターお知らせ／編入実績／講座案内等 【アルバイト求人情報】 (キャリア教育センター)
本館 4階	留学センターからのお知らせ
	留学説明会案内／各種申し込みなど
本館 5階	VISTAからのお知らせ
	開館情報／イベントのお知らせ 新入荷DVD／CDのお知らせなど
本部 ビル 5階	留学科関連のお知らせ
	【授業・特別講座関連】 再履修案内／進級・卒業判定案内／学内TOEFL 案内／学生呼び出しなど 【イベント・説明会実施関連】 新年度ガイダンス・オリエンテーション案内／卒業式・卒業パーティー案内／留学説明会案内など

◆Info Web (<http://info.kifl.ac.jp/>)

掲示板の他に、WEB 上でも情報を公開しています。特に重要なお知らせや緊急なお知らせを掲示しますので定期的な確認が可能です。掲示板と併せて活用してください。

〔2〕学内／学外マナー

■ 授業中は携帯を OFF に

当然のことですが、授業中は iPad を除き携帯電話やその他通信機器の電源は必ず OFF にして、カバンの中に入れてください。違反をした場合には授業を受けることが出来ません。

■ 飲食のマナーを守りましょう

基本的には、PC などの機材を設置している教室・施設での飲食は厳禁となっています。また、飲食が許されている場所でもマナーを守らなければ飲食が禁止となる可能性もあります。ごみの始末や後片付けなどに注意して、みんなが気持ちよく施設を利用できるよう心がけましょう。

■ 千代田区「生活環境条例」施行に伴う路上喫煙等の禁止について

2002 年 10 月 1 日より、千代田区では区内の道路、公共の場所を誰もが安心して快適に利用できるよう、区内全域で「安全で快適な千代田区的生活環境の整備に関する条例」（「生活環境条例」）を施行しました。条例に違反した場合、罰金等の対象になります。詳細は、「千代田区生活環境条例 ポイ捨て.com」ホームページ (<http://www.poisute.com>) を参照してください。

本館や 3 号館入り口は、学生ばかりでなく、企業の人事担当者や、社会人講座に出席される方々など、多くのお客様が通られます。階段に座り込んだり、タバコを吸ったりすることは出来ません。喫煙の際は必ず決められた場所を利用してください。マナー違反が認められた場合は厳しい処分の対象となります。

7. サポート制度

何か分からないことがあるとき、悩んでいることがあるとき、相談できる場所、相手を知っているかどうか充実した学生生活を送るための決め手となります。学院で過ごす時間が充実したものとなるように、上手にサポート制度を活用してください。

〔1〕各部署担当分野

各センターの担当分野は以下のとおりです。気軽に声をかけてください。

部署	担当分野	場所	
総務センター	学費 施設管理 等	本館 1階	
セ 教 務 セ ン タ ー	学生部	学生生活全般／学校行事全般／奨学金／再履修受付 成績管理／各種検定実施／海外団体研修 各種証明書受付・発行／資格試験合格証発行等	本館 1階
	教育部	カリキュラム／授業内容／教材について 教員に関する相談／各種検定試験対策講座運営等	本館 1階
キャリア教育センター	個別就職相談／就職活動ガイダンス／会社説明会 就職関連セミナー運営／卒業生就職支援活動等	神田外語 本部ビル 2階	
留学センター	個人参加型留学／短期語学・正規大学留学・ワーキング ホリデー相談／留学説明会等	神田外語 本部ビル 5階	
大学編入センター	国内大学進学全般／個別編入相談／編入説明会実施	神田外語 本部ビル 5階	

〔2〕各部署担当者からのメッセージ

① 教務センター学生部 榎澤 聡

新入生の皆さんが在学中、最も関わりを持つことになるのが学生部です。皆さんが充実した学生生活を送れるよう、最大限のバックアップをしていきます。学生部では常時、皆さんの多岐にわたる相談や悩みに応えています。たとえば進級や卒業に関すること、編入学、留学、就職といった進路相談、健康や学費に関すること、また友人関係の悩みなど、相談内容も多岐に亘っています。どうしようか迷ったり、悩みにぶつかったりした時は気軽に学生部へ顔を出してください。皆さんと一緒に考え、答えを探していきたいと思います。

② 教務センター教育部 池田 政隆

教育部では、皆さんのカリキュラム、授業スケジュール、教科書選定など、教育部門全般を扱う仕事を担当しています。また、成績や TOEIC などの結果の分析を行い、より効果的で将来に役立つ内容のカリキュラムを作成することを使命と考えています。皆さんや先生方の意見などを集約して、常に最高の教育環境を整えるように努力しています。各学期末には、皆さんにアンケートを実施させていただいています。これは、皆さんのニーズや希望を効果的な形で授業作りに反映させるために実施しているものです。

神田外語学院の教育部は、皆さんが限られた時間の中で、最も教育効果が上がり、皆さんの夢の実現を最大限サポートできるような満足度の高い教育内容を目指しています。入学後は遠慮なく、ご相談いただけたら幸いです。

③ キャリア教育センター 阿部 潔

キャリア教育センターは、皆さんの就職についてサポートを行なっています。就職活動に必要な自己分析や企業研究の方法は1年次からガイダンスで提供していきます。また、イベントや企業説明会を開催して、皆さんが自主的に就職活動をしていけるような環境を作っています。実際に選考が近づくと、皆さんと一緒に希望や適性を相談しながら、具体的な応募書類の書き方から面接練習まで、内定が取れるまで支援を続けていきます。学院の卒業生は、多くの企業で活躍をしていて、そんな先輩たちが就職活動してきた資料や、学校に頂くすべての求人情報がキャリア教育センターにはあり、自由に閲覧することができます。

皆さんが学院で過ごす2年間は、想像以上に早く過ぎていきます。自分はどのような仕事に向いているのだろうか？どのように就職活動をしたら良いか分からない、そんな悩みでも結構です。一人一人が納得のいくような進路を選ぶことが出来るようにサポートをするため、キャリア教育センターはあります。入学後はいつでも遠慮なく相談に来てください。

〔3〕学生支援カウンセリング制度

学生の皆さんが、より充実した学生生活を過ごせるように、下記のような様々な個別相談に対応するカウンセリング制度があります。就職相談をはじめ、進路に関する質問や学習方法、留学相談、大学編入、ライフカウンセリングなど、あらゆる相談について専門のアドバイザーからアドバイスを受けられます。

1. 就職カウンセリング（就職相談）

場所：神田外語本部ビル2階 キャリア教育センター

業界別の専門の担当者が就職に関するあらゆる相談に応じます。就職に関する各種ガイダンス・説明会なども企画しています。

2. 学習アドバイジング

場所：3号館1階 VISTA

「英語の勉強方法が良くわからない」「TOEICのスコアがなかなか上がらない」等、自分一人で考えても分からない事について専門のラーニングアドバイザーが丁寧に細かく指導します。

3. 海外留学カウンセリング（語学留学・正規留学・ワーキングホリデー）

場所：神田外語本部ビル5階 留学センター

留学センターでは、在学中の短期語学留学・卒業後の正規留学・ワーキングホリデーなどについて、留学先の紹介や手続き上、学習上のアドバイスをを行っています。通常のアドバイジング業務に加え、情報発信センターとして、留学先や目的別に、説明会を定期的に開催しております。留学に関する相談・カウンセリングは予約制です。

4. 大学編入学カウンセリング（神田外語大学・他大学）

場所：神田外語本部ビル5階 大学編入センター

神田外語大学・他大学への受験対策方法や、志望校の個人相談に応じ、個人指導が受けられます。（講師への個人相談は [KIFL Info-web](#) から予約）

編入学試験については、センター主催の各種説明会や講座が実施されるので併せて出席して下さい。

5. ライフカウンセリング（精神・心理カウンセリング）

場所：神田外語本部ビル4階 学生相談室

悩みや、迷いの多い学生生活、そして、色々なことが気になる年代です。学生相談室では、専門のカウンセラーが、皆さんが直面する様々なことに対して、一緒に考え、改善・解決に向けてのお手伝いをします。もちろん相談の秘密は守られます。気軽にご利用下さい。

<相談内容>

学院生活に関すること、あるいは自分にとって大切なことなら、どんな相談にも応じます。たとえば、次のような相談がよく聞かれます。

★自分自身

「イライラする」「落ち込む」「無気力」「孤独感」「不安感」「生きていくのが辛い」「自分の性格をなんとかしたい」「自分を傷つけてしまう」「人が信じられない」等

★心身の健康（ストレスによる体調不良など）

「食欲のコントロールができない」「眠れない」「呼吸が苦しい」「吐き気がする」等

★家族のこと ★友人関係 ★異性関係 ★他の対人関係

★進路や将来 ★経済的悩み ★その他

6. 健康カウンセリング（医務室）

場所：神田外語本部ビル4階 医務室

看護師が在室し、応急処置はもとより、年に一度の健康診断や日常の健康に関する相談も行っています。※自分の健康保険証を毎日携帯して下さい。

7. 「学生の声」制度

場所：神田外語本館1階 受付窓口横に設置

カウンセリング制度の一環として、神田外語学院では「学生の声」という制度があります。通常のカウンセリングは、学業相談、就職活動、性の悩み、友人関係、健康管理など、個人的な相談についてそれぞれの担当者が対応しますが、この「学生の声」は、より良い授業環境をつくるために、学院が学生の客観的な意見・要望などに耳を傾ける制度です。メッセージは個人的なことではなく、あくまでも複数の学生が関係することに限ってください。氏名が書いていなかったり、いたずらやふざけて書いたりしたメッセージへは回答しない場合があります。

8. 各種制度／施設／行事等

〔1〕編入

①大学編入について

専門学校で実質的な勉強をし、その後大学で更に専門的な知識を得るという進路が可能です。神田外語学院のカリキュラムは2年間で2,080時間の授業時間があり、2年生課程のどの学科を卒業してもこの制度を利用することができます。大学編入学の受験資格、選抜方法、また合格後の科目認定方法や認定単位数等は大学により異なります。編入学を目指す学生は、各大学について詳細な情報を集める必要があります。学院にはそのような学生を強力に支援するため、大学編入課程という放課後の特別課程があります。

A. 神田外語大学1年次推薦編入について

平成30年度は以下の要領で1年次推薦入学選抜試験が実施されます。選抜試験スケジュール、選抜基準についての詳細は、事前説明会等で配布される資料を確認してください。

1. 趣旨

専門学校神田外語学院の専門課程に在籍し、さらに本大学への入学を希望する人物に対し、専門学校神田外語学院の学院長からの推薦に基づき、優先的に1年次入学を許可し、専門学校教育と大学教育との教育成果を併せ持つ新しい人材を育成する。

2. 募集人員 (注)募集人数は第1回及び第2回選抜の合計数(又、状況により人数が変更される場合も有)

英米語学科	若干名	イギリス・アメリカ言語学科スペイン語専攻	若干名
国際コミュニケーション学科	若干名	アジア言語学科中国語専攻	若干名
—国際コミュニケーション専攻	若干名	アジア言語学科韓国語専攻	若干名
—国際ビジネスキャリア専攻	若干名	アジア言語学科東南アジア言語専攻	若干名

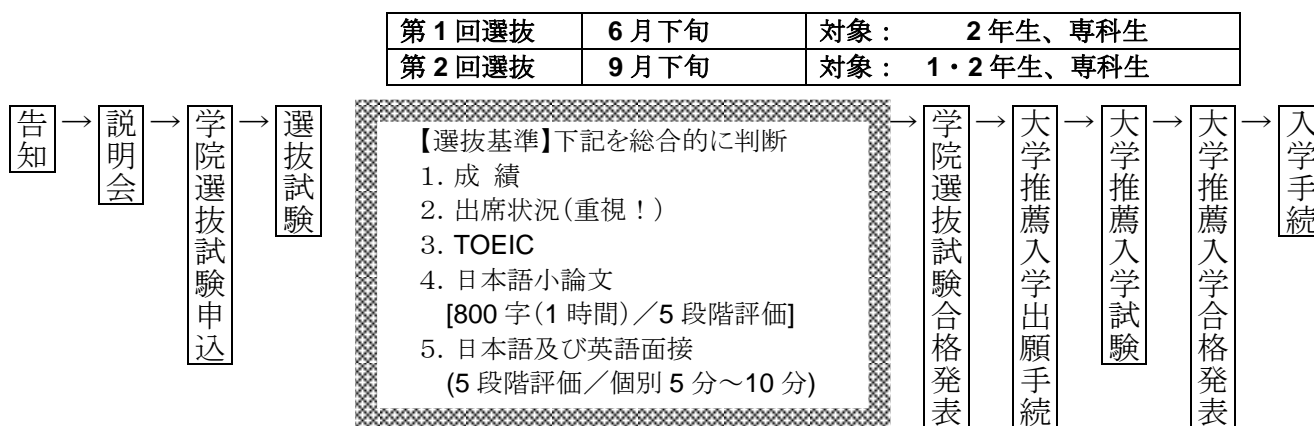
3. 推薦基準及び条件

次の全ての項目を満たしていること。

- 1) 大学で定められた出願資格を有していること
- 2) 専門学校神田外語学院の専門課程(1年制、2年制)を卒業見込み、または、1年次修了見込みであること
- 3) 大学への入学を強く希望し、入学後の勉学に明確な目的と熱意を持ち、かつ、専門学校神田外語学院在学中の成績・出席状況が良好であること
- 4) 大学入学後の勉学にふさわしい学力を持っていること
- 5) 合格した場合には必ず神田外語大学に入学すること

4. 手続きの流れ

【学院選抜試験スケジュール】



B. 神田外語大学2年次、3年次編入学について

平成30年度は以下の要領で2年次、3年次編入学選抜試験が実施されます。選抜試験スケジュール、選抜基準についての詳細は、事前説明会等で配布される資料を確認してください。

1. 趣旨

専門学校神田外語学院の専門課程に在籍し、さらに本大学への入学を希望する人物に対し、専門学校神田外語学院の学院長からの推薦に基づき、優先的に2年次、3年次編入学を許可し、専門学校教育と大学教育との教育成果を併せ持つ新しい人材を育成する。

2. 募集学科

英米語学科	3年次編入、2年次編入	アジア言語学科中国語専攻	3年次編入のみ
国際コミュニケーション学科	3年次編入、2年次編入	アジア言語学科韓国語専攻	3年次編入のみ
—国際コミュニケーション専攻		イペロアメリカ言語学科	3年次編入のみ
—国際ビジネスキャリア専攻	2年次編入	スペイン語専攻	
	3年次編入-(国際ビジネスキャリア科のみ)	アジア言語科東南アジア専攻	3年次編入のみ

3. 2年次、3年次編入学基準及び条件

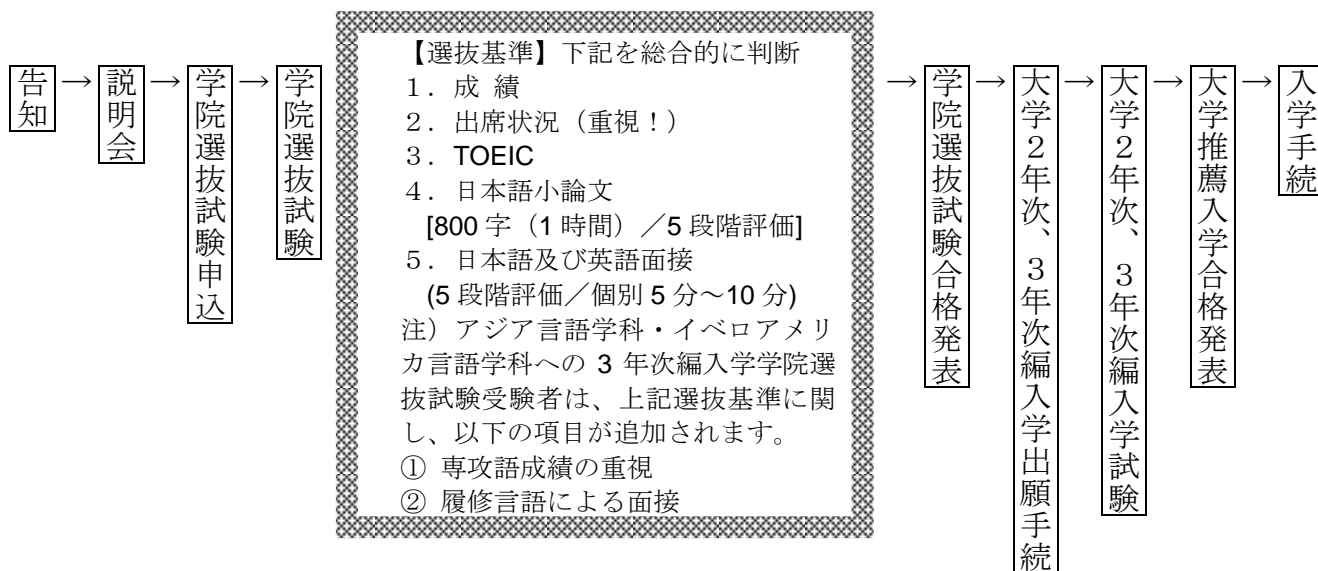
次の全ての項目を満たしていること。

- 1) 法律で定められた出願資格を有していること
- 2) 専門学校神田外語学院の専門課程(1年制、2年制)を卒業見込みであること
- 3) 大学への入学を強く希望し、入学後の勉学に明確な目的と熱意を持ち、かつ、専門学校神田外語学院在学中の成績・出席状況が良好であること
- 4) 大学入学後の勉学にふさわしい学力を持っていること
- 5) 合格した場合には必ず神田外語大学に入学すること

4. 手続きの流れ

【学院選抜試験スケジュール】

第1回選抜	6月下旬	対象：2年生、専科生
第2回選抜	9月下旬	対象：2年生、専科生



② 大学編入センターについて（神田外語本部ビル5階）

大学編入センターでは、編入学に関する相談や小論文などの試験対策を専門の教員がアドバイスしています。また、学院から編入学の可能な各大学の入試要項や大学案内、編入学試験過去問題集、合格した先輩たちの成功体験報告などが閲覧できます。志望校の相談や、簡単な質問については予約無しですることができます。

③ 大学編入課程について

学院で育てた英語力を活かして毎年200名以上の卒業生が、4年制大学の2年次又は3年次に編入学しています。学院では大学編入希望者に大学編入課程への登録を薦めています。大学編入課程は1年生2学期に登録し、2年生1学期まで全3期に渡り、必要な準備をしていきます（一部を除き有料の講座となります）。

A. 編入学説明会

編入試験に向けて希望大学の学部学科、設置科目などをリサーチしたり、志望大学決定から編入試験までの準備スケジュールを立て対策を始められるよう、知識や情報の提供をしていきます。

B. 日本語小論文対策

文章の構成、的確な表現法、修辞法、比喩法、引用法などの小論文の書き方と共に、自分の考えを論理的に分かり易く表現するスキルを学びます。

C. 編入試験英語対策

編入試験に出題される下線部訳、文章の要約、長文の読解など、受験英語特有の英語問題の回答練習を行います。

D. 学科別専門科目対策

学院の学生が他学部へ編入するためには、その学科の基礎知識程度を学習する必要があります。(以下の学科の各概論講座を1年次2学期より開講します)

- 開講科目： ①経済学概論 ⑦言語学概論
 ②経営学概論 ⑧コミュニケーション学概論
 ③国際関係学概論 ⑨英米文学概論
 ④法学／政治学概論
 ⑤社会学概論
 ⑥英語学概論

また、大学編入課程とは別に、入学後の特別対策講座・夏期講座・1年次3学期選択科目における対策講座・春期講座なども行われます。

【大学編入課程（上記A～D）開講スケジュール】

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(A)							↔	↔	↔			
(B)						説明会・登録	↔	↔	↔	↔	↔	↔
(C)							↔	↔	↔	↔	↔	↔
(D)							↔	↔	↔	↔	↔	↔
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(A)												
(B)		↔	↔	↔								
(C)		↔	↔	↔								
(D)		↔	↔	↔								

〔2〕留学

1. 学院における留学の種類(個人参加型・団体参加型)

神田外語学院の海外留学制度には、**A. 団体参加型** **B. 個人参加型** の2種類があります。

A. 団体参加型海外留学

団体で参加する学校主催の海外語学研修のことをさします。団体参加型の海外留学は、渡航前に事前研修会があり、海外は初めてという人でも安心して参加できます。また、ホームステイに力を入れており、留学先の生活をたっぷり体験できるのが魅力。どのコースにも2日～4日間程度の観光旅行が予定されています。終了後に自由選択科目として単位が認定されます。尚、学院で主催している団体参加型海外研修プログラムに参加した場合は、個人で単位申請をする必要はありません。

■海外研修プログラム

a) 夏季アイルランド研修 (約1ヵ月)

【対象】1・2年生

【条件】1年生：1学期終了時点で、1学期の共通必修科目・学科別指定専門科目の履修単位を全て修得可能であること

2年生：1年次の3学期間の選択科目以外の科目を除く全ての科目を修得していること

b) 冬季イギリス研修 (約2ヵ月)

【対象】1・2年生

※留学科コミュニティカレッジコース、1年生課程の学科、児童英語教育科(教員免許取得コース)、2年生 KUIS 編入合格者はカリキュラムの都合により参加不可

【条件】1・2学期の全科目を修得していること

c) 春季イギリス研修 (約1ヵ月)

【対象】1年生

【条件】1年生：3学期終了時点で、全ての科目を修得していること

B. 個人参加型留学

個人留学とは学院在籍中の休暇期間および2年次の3学期中に、学生が個人で語学研修をはじめとする様々な海外研修へ参加できる制度です。(休暇期間は以下のとおり)

夏季休暇 (1学期終了時～2学期開始前まで)

春季休暇 (3学期終了時～翌年度開始前まで)

* それぞれ、年度毎のスケジュールに準じる (学生手帳等で要確認)。

以下の基準をクリアして留学プログラムを修了した場合には、申請により自由選択科目の単位として認定されますが、夏季及び春季休暇中の個人留学で修得した科目は、選択科目「夏季／春季個人留学(卒業要件外)」として認定され、卒業要件としての選択科目(学科ごとに要件・単位数は異なる)にはなりません。

■留学単位認定制度

申請時期	年 2 回 (4 月と 9 月)
認定条件	以下参照

1. 単位認定対象者：昼間部 2 年制及び 1 年制課程学生（除く：留学科）
2. 対象言語：原則的に、英語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語
3. 認定単位数：675 分を 1 単位とする。
4. 留学時期と認定条件
 - 1) 全留学生・留学時期対象：個人留学希望者は、所定の期間中に必ず留学センターへ『留学届』を提出しなければならない。渡航前に「留学届」を提出していなかった場合は、帰国後、単位認定を受けることができない。単位認定の詳細は渡航前に必ず留学センターに確認をすること。
 - 2) 夏季休暇：1・2 年制課程
 - 3) 3 学期：全学科 1 年生対象外。3 学期履修必要単位数（必修科目と選択科目を合わせた単位数）を全て修得できる留学プログラムであること。学科・科目において指定された補講に必ず出席すること。2 年次 2 学期までの科目をすべて修得していること。
 - 4) 1 年次春季休暇：2 年次進級条件を充たしていること。1 年制課程対象外
5. 単位認定時に提出すべき書類等：語学留学終了後、以下の書類等を、所定の申請期間内に留学センターに提出すること。未提出書類がある場合は単位が認定されない。
 - 1) 留学先の学校（以下「当該学校」）が現地の公共機関(国・州・地方自治体)による認定校・認可校であること、または、現地の教育事業認定機関(公共・民間)の加盟校・所属校であることのいずれかを証明する書類・資料。
 - a) 但し、神田外語学院 留学センターを通して留学する場合、または学院指定留学エージェントを通して留学する場合は、これを免除する。
 - 2) 当該学校の発行による、現地での総授業期間と総授業時間数が証明できる資料。
 - a) 1 週間分の授業内容が記された「時間割」でも可とする。
 - 3) 当該学校の発行する「修了証明書」のコピー
 - 4) 短期留学に関するレポート タイトル：「短期語学留学に参加して私が得たもの」
1,600 字以上（形式自由）
6. 単位認定申請時期：年 2 回 (4 月／9 月) — 2F 掲示版および留学センター掲示
7. 申請書類提出先：留学センター（神田外語本部ビル 5F）

2. 留学センターについて

① 在学中の語学研修

学院の休暇期間中（夏・春）の語学研修、その他様々な短期語学研修について、カウンセリングやアドバイス、手続きのサポートを行っています。休暇期間中の語学研修参加者に向けて、渡航前の留学説明会等も実施しています。

② 卒業後の正規留学（その他の留学）

学院卒業後に、語学研修や正規留学を希望する学生のカウンセリングやアドバイス、各種手続きのサポートを行っています。

〔3〕その他の制度紹介

1. 3学期選択科目

3学期において、必修科目に加えて短期集中型の選択科目が履修できます。

3学期には、実に多くの分野・種類の選択科目講座が開講されます。従って、自分の専門分野についてさらに力を伸ばしたい、または専門分野以外の勉強もしてみたい、学院卒業後の進路に必要な知識・技能を身に付けたいなど、それぞれの目的に合わせて勉強することができます。

各学科のカリキュラムによって、選択科目が卒業単位として必修とされている場合とそうでない場合がありますが、学院での2年間の学習成果をさらに高めるものとして、是非積極的に利用して下さい。

開講科目等の詳細は、後日発表される自由選択科目履修登録案内で確認してください。

申請時期	年2回(9月と2月)
認定条件	入学後に取得した資格(級)に対して単位を認定します。単位認定の対象となる検定試験及び認定単位数はP46~P48を参照のこと。

2. 各種資格検定試験合格単位認定

3. 資格取得奨学金

神田外語学院2年次に在学し、他の学生の模範となって学業に精勤して下記の資格を取得した学生には、申請により、奨学金が授与されます。(ただし、在学中に一人1資格のみとなります。)

対象資格	TOEIC990 点満点取得 (公開テストのみ) TOEIC900 点以上取得 TOEIC800 点以上取得 TOEIC700 点以上取得 ※ ※ 公開テストのスコアで提出する場合は日本国内で受験したもの、IPテストのスコアで提出をする場合は本学院で受験したものに限ります。 実用英語技能検定試験1級、準1級、2次試験合格 スペイン語検定3級以上 中国語検定2級以上 フランス語検定2級以上 ハングル能力検定2級以上 韓国語能力検定試験5級以上 インドネシア語技能検定 C級以上 実用タイ語検定 準2級以上
申請時期	2年次2学期末と3学期末の指定された期間内(後日掲示板等にて連絡)
授与条件	① 本学昼間部2年制学科の2年生による申請であること ② 在学中に取得した資格による申請であること(入学前に取得した資格は不可) ③ 正規時期に卒業できる者 ④ 資格取得を証明できる書類を提出できること ⑤ 広報活動に協力できる者 ⑥ 成績や出席状況に問題がなく、他の学生の模範となる者 ⑦ 有効な申請がなされること

※1年制課程は対象となりません。

〔4〕学習支援施設

① Village of Innovative Study and Training Access (3号館)

VISTAは学生がいつでも利用できる最新の学習施設で、語学学習の技能別に地下1階と6階に分かれています。多種多様な外国語学習用の教材や職業関連科目の教材が、図書室を含む施設内で提供されています。また、学習指導サービスも充実しており、ラーニングアドバイザーやライティングドクターによる指導が学生の語学力向上に役立っている一方、English Conversation Loungeにより、英語の会話練習を楽しみながら異文化体験もできる環境が整っています。

地下1階：VISTA ACT (Action Communication Training)

当フロアは「コミュニケーション」を目的とした施設で、スピーキング・リスニング・発音・シャドーイング・プレゼンテーション等の練習をする施設となっています。

1. 設備

- 1) パソコン：インターネットに常時アクセス可。
- 2) 貸出し用ノートPCでインターネットにアクセス可。
- 3) Edutainment Booths：3人まで利用可能、5室あり。用途は発音やスピーキング練習・DVD鑑賞・ネットリサーチ等。
- 4) Testing Center：1人学習用、3室あり。用途はEdutainment Boothsと同様。
- 5) Multi-Purpose Room：3～5名まで利用可能、用途はグループ学習の他はEdutainment Boothsと同様。
- 6) Presentation Booths：3～4人利用可能、3室あり。プレゼンテーションの練習用。
- 7) Salon：5～20名まで利用可能。用途は多目的で、DVD鑑賞・ボードゲーム・Wii(英語版)・英語カラオケ・プレゼンテーション練習等。放課後には、英語学習や各検定試験対策等のワークショップ・旅行や異文化・音楽等のプレゼンテーションが開催される事もある。
- 8) Learning Management Center：語学スキルアップや語学学習を成功に導く方法や教材、そして新教材の紹介。

※上記(3)～(7)のブースと個室は、PC(DVD/CD使用可能)・辞書等を完備。

※Testing Centerは一人用個室で試験勉強等の集中学習に最適。

2. 教材

DVD(アメリカから直購入の最新版)・CD(音楽/学習用)・英字新聞(日刊/週刊)・雑誌(英語)・書籍(英語)・タスクシート(スキル毎にレベル別に作成された英語学習用シート)等。

1階： English Conversation Lounge

学内外の情報を掲示する大型モニター及び英語で会話練習のできるラウンジがあり、ここで ECL (English Conversation Lounge) が開かれています。(スケジュールや利用方法は 3 号館 1 階の Information Counter で提供。)

1. ECL

ヨーロッパ・アジア・アフリカ等世界各国からの English speakers との会話を楽しみながら英会話力を磨き、異文化についての知識を広げることができます。

2. Writing Center / Learning Advising

当センターでは二つの学習指導サービスを実施しています：

- 1) ライティングドクターサービス：英文作成の指導をするライティングドクターによる、英文エッセイ・手紙・Eメール・履歴書・スピーチ等の作成に関する指導。
- 2) アドバイジングサービス：語学教育の専門スキルを持ったラーニングアドバイザーによる、学生との一対一の対話を通して自律学習へ導き、学生が自分に合った学習プランや学習方法を見出すサポートをするサービス。

また、4号館横の Culture & Food Kitchen では、ECL / FLL 講師による外国語でのクッキングワークショップも開催しています。

6階： VISTA SILC (Success Independence Learning Center)

学生は、VISTA Library の蔵書は元より、オンラインによるデジタル書籍 (MeL: Maruzen eBook Library) の閲覧が可能です。デジタル書籍とは MeL のサイトに iPad からアクセスして読みたい書籍を 1 度に 60 ページまでダウンロード/保存する事が出来るので、VISTA まで本を借りに来る手間が省ける便利なシステムで返却期限もありません。当フロアは「静かに行う学習活動」を目的とした施設で、リーディング・ライティング・文法・語彙等を学習する場です。蔵書数一万冊の図書室もあります。

- 1) ノート PC (貸出し)：インターネットに常時アクセス可。
- 2) Collaborative Center：12~16 人まで利用可能、用途は主にグループ学習。
- 3) Learning Management Center：語学スキルアップや語学学習を成功に導く方法や教材、そして新教材の紹介。
- 4) 図書館：英語の学習及び検定試験・他言語の学習及び検定試験・職業学科 (ホテル・エアライン・ビジネス・観光)・教員用の英語教本・和書各種

※ソファでくつろいで英字新聞・洋雑誌・英語コミック・書籍等を読むことも可能。

② Multilingual Opportunities and Valuable Experiences (MOVE)

MOVE は「言語を通じた知的交友機会を提供する体験型施設」です。アジアとヨーロッパへの関心を高め、各国の文化・歴史・社会・宗教を学ぶ機会を提供し、学習意欲を高める動機付けとなる施設です。展示物に実際に触れることもでき、外国の文化を知るための体

験型施設であると同時に、第二言語を学ぶ学生同士の憩いの場でもあります。また、MOVE では学生の語学力の向上を図るため、アジア・ヨーロッパ言語科の言語を使った会話練習をするための Foreign Language Lounge (FLL) 及び同学科の教員が学生の質問に答えるオフィス・アワーズを実施しています。

③ ブリティッシュヒルズ (福島県) —パスポートの要らない英国研修— (1 年次 4 泊 5 日)

美しく整備された豊かな緑に調和する、石造りや白壁の建物の数々。ここブリティッシュヒルズに足を踏み入れると、そこはもう英国の田園風景。設計はすべて英国人建築家が担当し、12～18 世紀の英国を忠実に再現しました。この理想的な「英国村」で、神田外語学院の学生のために新入生オリエンテーションを初め、1 年次の 4 泊 5 日の英国疑似体験研修等様々な研修が実施されています。ホームページ <http://www.british-hills.co.jp/>

〔5〕 イベント

① Lunch Time

月に 1 回、外国人の先生方と一緒に昼食を楽しむ English Lunch Time が開催されます。恥ずかしがらず思い切り英語でコミュニケーションをとってみてください。単語や表現が分からないときは、身近な先生にすぐ聞いてみましょう。一方、MOVE では昼休みにアジア・ヨーロッパ言語科の国々に因んだ Lunch Time イベントを定期的に行っています。例えば、民族衣装に身を包んで伝統的な踊りを披露するイベント等です。

② サマーフェスティバル・ハロウィンパーティー・クリスマスイベント

VISTA 主催の季節ごとに行われ、カラオケコンテスト、コスチュームコンテスト、ゲーム・パフォーマンス等、盛りだくさんのイベントです。

〔6〕 学生活動

① サークル活動

学院ではサークル・同好会活動を通じて学生生活をより充実させたいという学生を応援しています。サークルや同好会に入会したい方、もしくは自分たちで立ち上げたいという方は、本館 1F 学生部まで相談に来て下さい。人生のなかでも最も好きなことに打ち込める学生時代！好きなことを分かち合える仲間と充実した時間を楽しみましょう。

② 学生課外活動

学院では年間を通じて様々な学生課外活動を実施しています。そのなかでも学院最大のイベントが秋に開催される学園祭です。学院ならではの国際色豊かな模擬店や学生有志によるバンド演奏、ダンス発表等ステージパフォーマンスなど内容は盛り沢山です。その他にも豪華ホテルで行う卒業パーティーの企画・運営など学生生活をより充実させる多くの機会があります。